

モデル地区の取り組み

【多可町加美区多田地区】

平成28年2月4日(木)

多可町

多田地区の全景写真



2 河川流域の概要



2日の大雨多可町113ミリ

1時間雨量 過去最大 国交省が観測

気象庁の観測で丹波市では1時間に観測史上最大の94ミリを記録した2日の大雨で、国土交通省が兵庫県多可町に設置している雨量計では、同日午前6時半〜7時半に113ミリを記録していたことが6日、分かった。1968年の雨量計設置以降、最大の1時間雨量という。同町ではこの時間帯の集中的な豪雨で、浸水被害が84棟(床上3棟、床下81棟)に広がった。(伊藤大介)

国交省は道路や河川のは当初、最も雨が降ったのは2日午前7〜8時の管理などを目的に、気象データを発表する気象庁とは別に雨量計などを設置。1時間ごとにその間の雨量を公表している。同省が同町加美区市原に設置している雨量計で、たことが分かった。

加美区市原と隣接する同区丹治に県が設置している雨量計も午前6時半〜7時半に106ミリを記録し、2003年の観測開始以来最大だった。今回、多可町の浸水被害は加美区に集中しており、同町は「加美区周辺に局所的に豪雨が降り、浸水被害が出たのではないかとみている。」

H25.9.7 神戸新聞

多可町 6600人避難勧告

播磨北部に大雨

杉原川 急激に増水

土砂崩れ7カ所 家屋被害も



大雨で避難勧告水位を超えた杉原川。多可町中區で午前1時5分

近畿地方に局地的に激しい雨が降った1日、播磨地域北部でも被害が相次いだ。多可町では町内を流れる杉原川の水位が急激に増し、同町中區南播磨地域の約100世帯6600人を対象に避難勧告が発令された。

多可町は午前8時に超えたため、午前8時に避難勧告を発令し、職員が被害状況の把握に追われた。加美区丹治にある川の雨量観測所で午前9時、15.8mmの累積雨量を観測。杉原川が避難勧告水位の2.8倍を

超えたため、午前8時に避難勧告を発令し、職員が被害状況の把握に追われた。加美区丹治にある川の雨量観測所で午前9時、15.8mmの累積雨量を観測。杉原川が避難勧告水位の2.8倍を

超えたため、午前8時に避難勧告を発令し、職員が被害状況の把握に追われた。加美区丹治にある川の雨量観測所で午前9時、15.8mmの累積雨量を観測。杉原川が避難勧告水位の2.8倍を



高山から崩れた土砂で傾いた建物—多可町八千代区で2日午後0時1分

900世帯7500人に避難準備勧告を出し、2世帯3人が自主避難。神戸町でも1世帯2人、アール1本1人、入所者が自主避難し、床上浸水も相次ぎ、午後5時現在で4棟、多可町2棟、神戸町5棟、市川町2棟、多可町2棟、西本町1棟、道路間に土砂が崩れ、道路が通行不能となった。住民は、当の被害が確認された。内部放水が困難だったことから鎮火まで9時間を要した。現場は住宅密集地で近隣のビルが、はん濫水位の5倍を超えたため、福崎町福崎、田原の約2人ら住民40人余りが避難する事となった。

【高橋一隆】

H25.9.3 毎日新聞

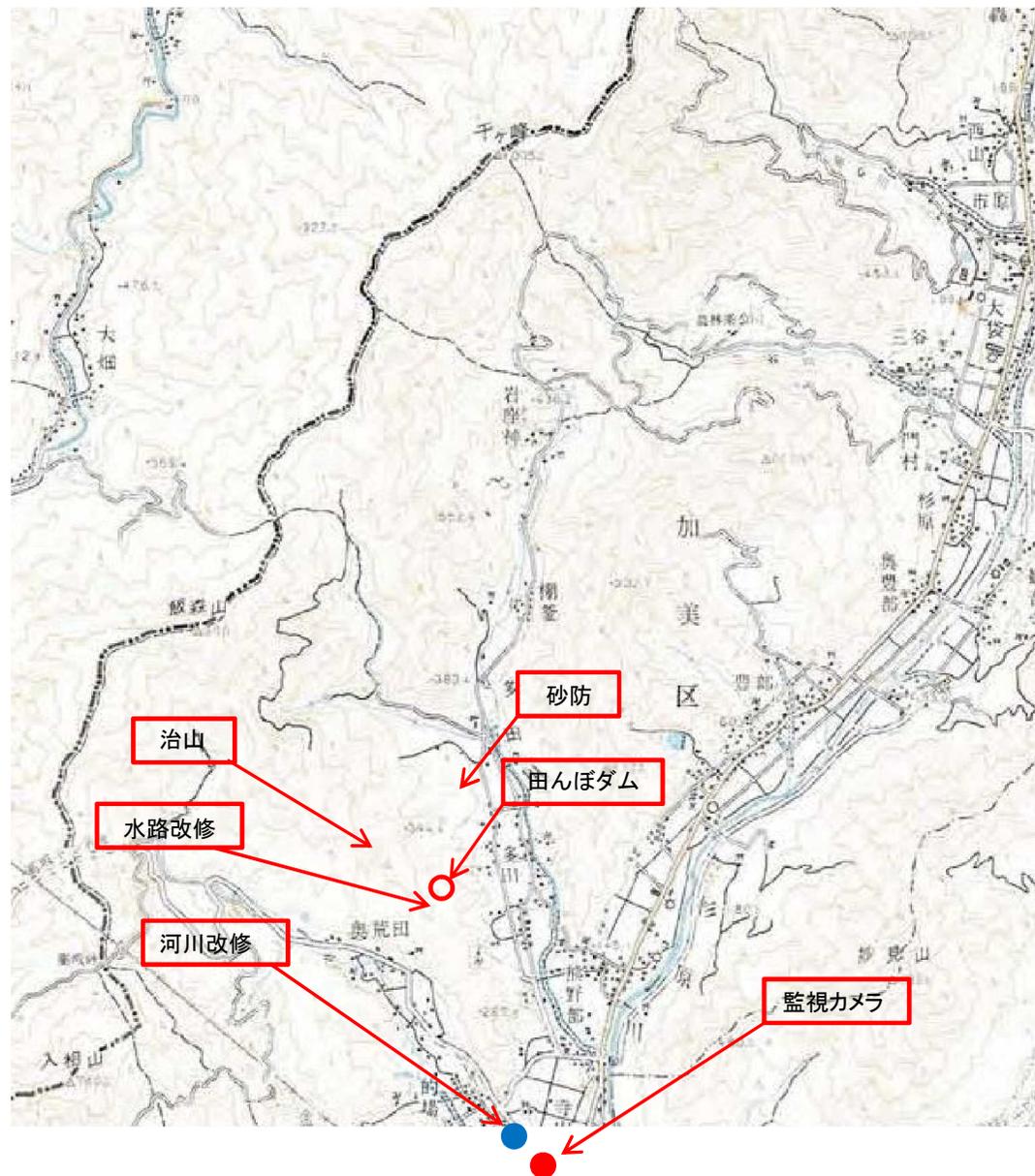




総合治水取り組み

多田川流域

1. 河川改修
2. 水路改修
3. 田んぼダム
4. 治山・砂防工事
5. 河川監視カメラ設置
6. 森林整備等



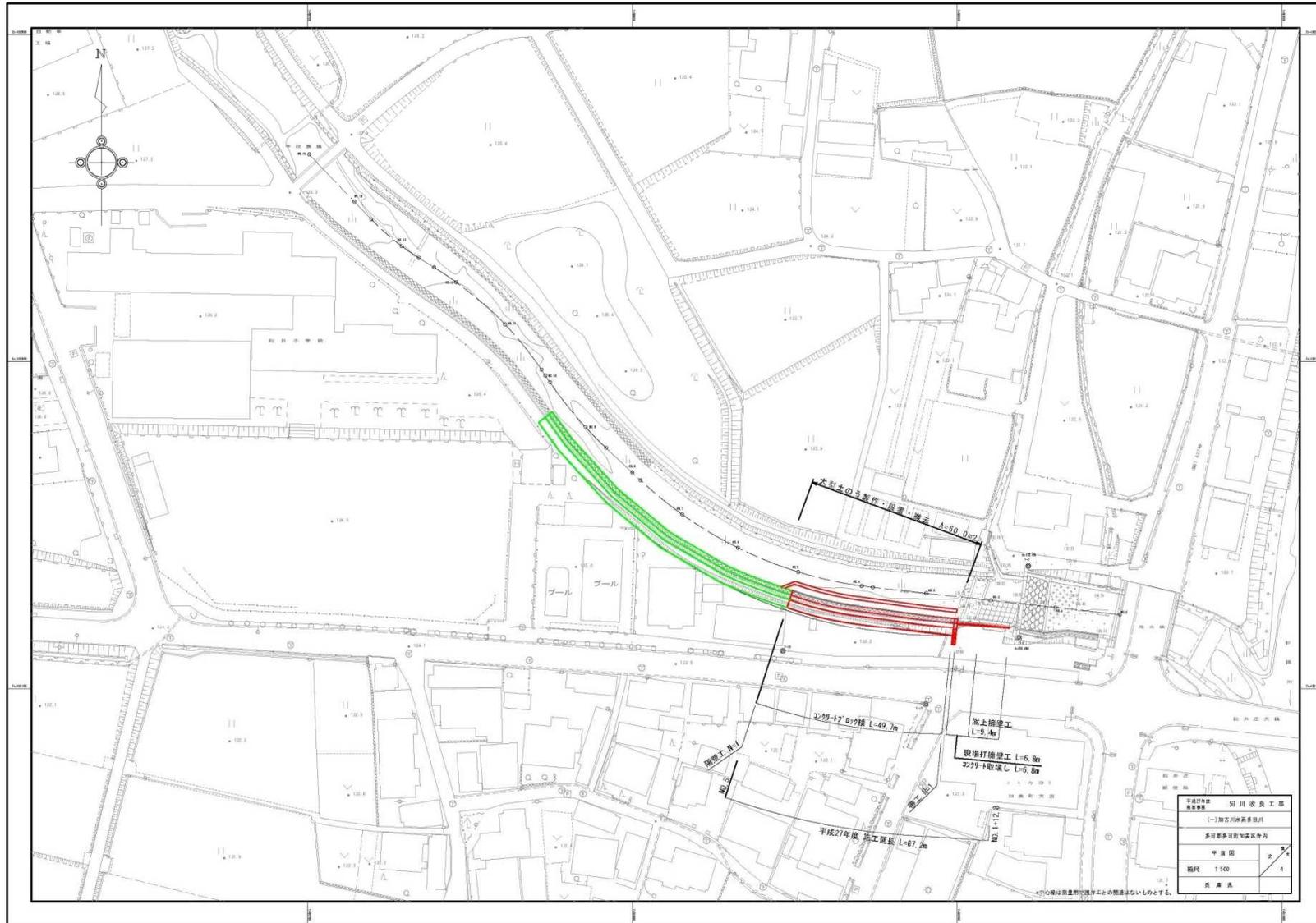
多田川増水写真



河川現況写真



河川改修計画図面



水路嵩上工事

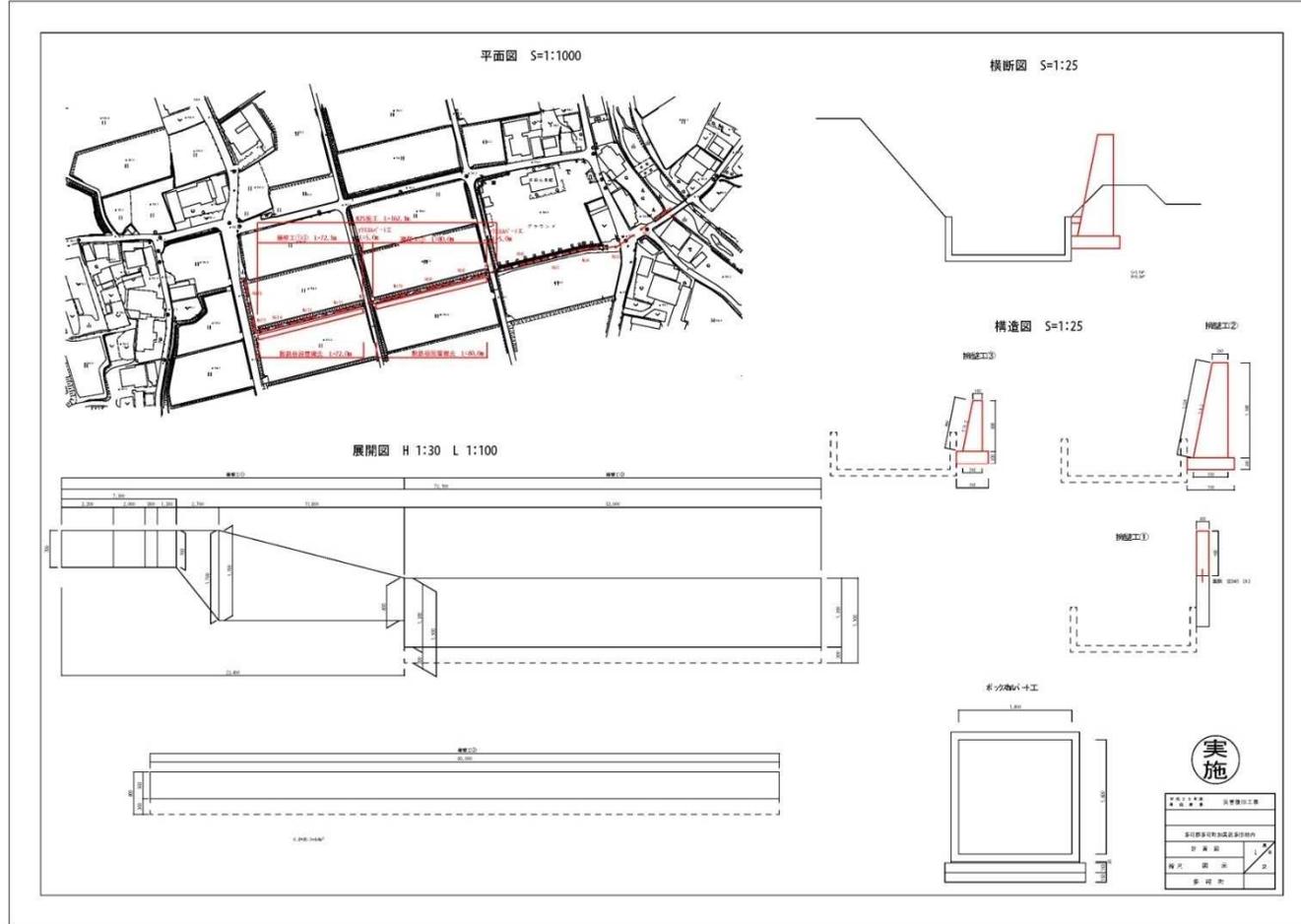
被災状況写真



工事完成写真



水路嵩上工事図面



水路嵩上工事



水田用水位調整器の設置



治山工事(流路工)



砂防工事(整備中)



森林整備(間伐)



河川監視カメラの設置



多可町デジタル防災行政無線施設(同報系)整備事業

全体システム系統図

モータサイレン連動の屋外拡声子局を整備。
デジタル防災行政無線 操作卓での一体運用と、
北はりま消防本部との連携運用を実現！

